

人との触れ合い重要

外国人客への対応 青森市でセミナー

本県への外国人旅行者が増加する中、ビジネスにつながるようなインバウンド（訪日外国人旅行）戦略を考えるセミナーが6日、青森市の青森国際ホテルで開かれた。小売業者や宿泊業者、行政関係者ら約20人が参加し、外国人客対応の具体的なポイントを学んだ。21あおもり産業総合支援センター内の「県よろず支援拠点」が主催した。講師の山内リチャードン

ン澄子さんは、10年間の米国滞在を経て現在は故郷の青森市に居を構え、体験型プログラムの開発など外国人客の受け入れ支援などに取り組んでいる。

山内さんは、インバウン



外国人旅行者への対応のポイントを説明する山内さん

ドが地域社会にもたらすメリットや、外国人客に本県滞在を楽しんでもらうためのポイントを紹介した。

「外国人が求めるのは流ちょうな外国語対応ではなく、人間的な触れ合い」とし、一歩踏み出して接する心を持ってほしい」と提案。一方で、買い物などの消費行動につなげるには「今、ここだけしか買えない」と分かりやすくアピールできるよう、外国語メニューやPOP（宣伝カード）で補うことが重要だとした。また、街への滞在を楽しんでもらうには、地域内外や異業種間の連携が不可欠だとも話した。（行方知代）